

<p>キ ー コ ン セ プ ト 1 人 間 関 係</p>	<p>1.1 家族</p> <p>キーアイデア 親/保護者、他の家族メンバーは子どもが価値観を獲得するのを助け、子どもの決定を導きサポートする</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親/保護者、他の家族メンバーが子どもの意思決定をサポートする方法について説明する（知識） ・親/保護者、他の家族メンバーが自分の意思決定に影響を及ぼしていることを認識する（態度） ・家族の価値観が自分の決定をどのように導いているかを省察する（スキル） <p>キーアイデア 家族は自分の役割や責任を通してジェンダー平等を促進できる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族一人ひとりの役割、権利、責任について明らかにする（知識） ・自分たちの役割や責任を通してジェンダー平等をサポートできる方法を列挙する（知識） ・家族の一人ひとりが家族の中のジェンダー平等を促進できることを認識する（態度） ・家族における平等な役割と責任へのサポートを表現する（スキル） <p>キーアイデア 健康や病気は構成や受容力、責任のあり方の面で家族に影響を及ぼす</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康や病気が家族メンバーの役割や責任に及ぼす影響を説明する（知識） ・健康や病気が、どのように家族が機能するかに影響を及ぼすということを認識する（態度） ・病気になった家族への共感をはっきりと示す（スキル） <p>1.2 友情・愛情・恋愛関係</p> <p>キーアイデア 友情や愛情は自分自身をポジティブに捉える助けになる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友情や愛情がもたらす恩恵を列挙する（知識） ・友情や愛情は幸福感を与えてくれることを認識する（態度） ・他者に幸福感を与えるような友情や愛情を表現する（スキル） <p>キーアイデア 子どもが思春期を迎えると、友情や愛情はさまざまに表現される</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長する中で友情や愛情を他者に表現する際にさまざまな形があることを説明する（知識） ・他者に友情や愛情を表現するたくさんの方があることを認識する（態度） ・成長する中で自分の友情や愛情を表現する方法が変化することを省察する（スキル） <p>キーアイデア 人間関係における不平等は個人的な人間関係にネガティブな影響を与える</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係における不平等が個人的な人間関係に影響を及ぼす方法（ジェンダー、年齢、経済的立場、力の相違などによって）について探究する（知識） ・より平等な役割が、どのように健康的な人間関係に貢献できるか分析する（知識） ・人間関係における平等性がいかに健康的な人間関係の一部として位置づくのかを認識する（態度） ・人間関係の中で公平な役割を取り入れる（スキル） <p>1.3 寛容・包摂・尊重</p> <p>キーアイデア スティグマや差別は有害である</p> <p>学習者ができるようになること</p>
---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・スティグマや差別の意味を明らかにし、それがどのように有害であるのかを明らかにする（知識） ・自分に内面化されたスティグマ（沈黙、拒絶、秘密主義など）とその結果を説明する（知識） ・一般的に、スティグマや差別を経験している人を援助するためのサポートの仕組みがあることを再認識する（知識） ・他者に寛容、包摂、尊重を表現することの重要性を認識する（態度） ・スティグマや差別に晒されている人たちへのサポートを提示する（スキル） <p>キーアイデア 社会的、経済的および健康状態や、民族性、人種、出自、性的指向、ジェンダーアイデンティティ、その他の差異などを理由に誰かにハラスメントやいじめをすることは相手の尊厳を否定し傷つけることである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントやいじめの意味を説明する（知識） ・他者へのハラスメントやいじめがなぜ他者を傷つけ尊厳を否定することなのかを説明する（知識） ・すべての人がいじめやハラスメントに反対する声を上げる責任を持っていることを認識する（態度） ・ハラスメントやいじめに対抗する方法を実際にやってみる（スキル） <p>1.4 長期の関係性と親になるということ</p> <p>キーアイデア 児童・早期・強制婚(CEFM)は有害で、大多数の国で違法である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CEFM の意味を明らかにする（知識） ・CEFM が子ども、家族、社会にもたらすネガティブな結果を列举する（知識） ・CEFM は有害であることを認識する（態度） ・もし CEFM のリスクにあったときに話すことができる親／保護者、または信頼できるおとなを明確にする（スキル） <p>キーアイデア 長期の関係性、結婚、親になることは社会や宗教、文化や法律などによって異なり、かつこれらによって形づくられている</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期の関係性、結婚、親になることの重要な特徴を列举する（知識） ・文化や宗教、社会、法律が長期の関係性、結婚、親になることにどのように影響しているかを説明する（知識） ・すべての人が、いつ、誰と結婚するのか、しないのかを決定できるべきであることを認識する（態度） ・長期の関係性、結婚、親になることに関して、自身の意見を表現する（スキル） <p>キーアイデア 文化やジェンダー役割は親になることに強い影響を与える</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化やジェンダー役割が親になることにどのように強い影響を与えるのかについて議論する（知識） ・よい親であるということが意味することについて、自分の価値観や信条を省察する（スキル）
<p>キー コン セ プ ト 2 価</p>	<p>2.1 価値観、セクシュアリティ</p> <p>キーアイデア 家族やコミュニティから伝えられる価値観や態度は、性やセクシュアリティを学ぶにあたって、情報源になり、自身の個人的な行動や意思決定にも影響している</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性やセクシュアリティについて、何をどのように学ぶかを形成する価値観や態度の情報源（親、保護者、家族、コミュニティなど）を明らかにする（知識） ・一部の親や保護者が自分たちの価値観を子どもたちに教え、例示するさまざまな方法を説明する（知識） ・ジェンダー役割への期待と平等に影響する価値観を説明する（知識） ・家族やコミュニティの価値観や態度が行動や意思決定に影響していることを認識する（態度）

<p>価値観・人権・文化・セクシュアリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族から学んできた価値観を省察する（スキル） <p>2.2 人権・セクシュアリティ</p> <p>キーアイデア 自身の権利を知り、また国内法にも国際協定にも人権が表記されていることを知るのは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の定義と、すべての人にどのように適用されているのかを再認識する（知識） ・普遍的な人権や子どもの権利を定義する国内法と、国際協定を挙げる（知識） ・国内法、国際協定に記されている子どもの権利（世界人権宣言、子どもの権利条約など）を認識する（知識） ・人権そのものと、人権がすべての人に適用されることを的確に認識する（態度） ・実際に自分が行使している権利を省察する（スキル） <p>2.3 文化、社会、セクシュアリティ</p> <p>キーアイデア 文化、宗教、社会は私たちのセクシュアリティの理解に影響している</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化、宗教、社会がセクシュアリティの理解にどのように影響しているのか例を明らかにする（知識） ・各地域の、そして異なる文化を超えて行われるさまざまな成人への通過儀礼を説明する（知識） ・時代によって変化してきた、セクシュアリティにかかわる文化的、宗教的、社会的信条や慣習を明らかにする（知識） ・セクシュアリティに関する多様な信条があることを認識する（態度） ・セクシュアリティに関するさまざまな慣習とすべての人の人権に対する尊重をはっきりと示す（スキル）
<p>キーコンセプト3 ジェンダーの理解</p>	<p>3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性</p> <p>キーアイデア 社会的・文化的規範や宗教的信条はジェンダー役割に影響する要因にもなる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー役割の意味を明らかにする（知識） ・社会的規範や文化的規範、宗教的信条がジェンダー役割にどう影響するかを明らかにする（知識） ・多くの要因がジェンダー役割に影響していることを認識する（態度） ・ジェンダー役割の捉え方に影響を及ぼしている社会的、文化的、宗教的信条について省察する（スキル） <p>キーアイデア 個々人が自分のジェンダーに関して、自分自身をどう考え、あるいは他者に自分自身をどう説明するかは、個々に異なりそれぞれにすばらしく、それらは尊重されるべきである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーアイデンティティの意味を明らかにする（知識） ・誰かのジェンダーアイデンティティがセックスと合致しない場合があることを説明する（知識） ・誰もがジェンダーアイデンティティをもっていると認識する（態度） ・自分自身のジェンダーアイデンティティをポジティブに認識し、また他者のジェンダーアイデンティティへの尊重をはっきりと示す（スキル） <p>3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス</p> <p>キーアイデア ジェンダー不平等や力の差は、家族、友情関係、人間関係、コミュニティや社会の中に存在している</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー不平等を明らかにする（知識）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー不平等が、家族や友だち関係、コミュニティ、社会の中での力の差とどのように関連しているかを説明する（知識） ・人間関係におけるジェンダー不平等や力の差のネガティブな影響の重大性（ジェンダーに基づく暴力）を再認識する（知識） ・すべての人にジェンダー不平等をなくす責任があるという信念を育む（態度） ・家、学校、コミュニティの中での人間関係において、ジェンダー平等を促進させるさまざまな方法を実際にやってみる（スキル） <p>キーアイデア ジェンダースtereotypeは偏見や不平等につながる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーに関連するステレオタイプやバイアスを明らかにする（知識） ・ジェンダースtereotypeやそれに基づく期待は、人々が自分たちの人生をいかに生きるのかに良くも悪くも大きな影響を及ぼすことを認識する（知識） ・ジェンダーによる違いは搾取や不平等な扱いを引き起こす可能性があること、人々が期待された規範と異なる振る舞いをした場合は特にそうであることを認識する（態度） ・ジェンダー役割が公正であるかどうかに関心を持ち、結果としてそれらが不公平で有害な慣習であることの異議申し立てのさまざまな方法を実際にやってみる（スキル） <p>3.3 ジェンダーに基づく暴力</p> <p>キーアイデア あらゆる形のジェンダーに基づく暴力は間違った行為であり、人権侵害である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーに基づく暴力の例（例えば、いじめ、セクシュアルハラスメント、精神的暴力、ドメスティックバイオレンス、レイプ、女性性器切除／切断、児童婚、同性愛嫌悪による暴力）を列挙し、学校、家庭、公共の場、インターネット上などを含む、ジェンダーに基づく暴力が起こりうる場を明らかにする（知識） ・あらゆる形のジェンダーに基づく暴力は人権侵害であることを認識する（態度） ・もし、自分たちや自分たちが知っている誰かがジェンダーに基づく暴力にあっていたり、自分たちがジェンダーに基づく暴力に巻き込まれそうな心配があったりする場合に、信頼できるおとなに相談する方法を明らかにし、実際にやってみる（スキル） <p>キーアイデア ジェンダースtereotypeは暴力や差別の原因になる可能性がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダースtereotypeが、いじめ、差別、虐待、性暴力をどのように引き起こすのか説明する（知識） ・性的虐待やジェンダーに基づく暴力は、その人が性的欲望をコントロールできないという問題ではなく、力と支配による犯罪であることを説明する（知識） ・ジェンダー不平等やジェンダー役割のステレオタイプは、ジェンダーに基づく暴力を引き起こすということを認識する（態度） ・ジェンダー平等について議論し、ジェンダーに基づく差別や暴力に立ち向かうための方法を実際にやってみる（スキル）
キー コン セ	<p>4.1 暴力</p> <p>キーアイデア 性的虐待、セクシュアルハラスメント、いじめ（ネットいじめも含む）は人を傷つける行為であり、それらを体験した場合にはサポートを求めることが重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的虐待（レイプ、近親者による性暴力、ネット上での性的搾取を含む）、セクシュアルハラスメント、いじめ（ネットいじめも含む）の具体例を説明する（知識）

<p>ブ ト 4</p> <p>暴 力 と 安 全 確 保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの性的虐待は違法であり、被害を受けた人を支えてくれる公の機関やサービスがあることを認識する（知識） ・性的虐待・セクシュアルハラスメント、近親姦、いじめを受けた場合、サポートを求めることの重要性を認識する（態度） ・誰かがいじめや性的虐待、セクシュアルハラスメントを受けていると知った場合に対応できる効果的なさまざまな方法を実際にやってみる（スキル） ・自分たちが知っている人が性暴力、セクシュアルハラスメント、近親姦、いじめなどの被害にあっている場合、もしくは自分が被害にあっている場合に助けを求めるさまざまな方法を実際にやってみる（スキル） <p>キーアイデア 親密なパートナーからの暴力は間違った行為であり、それを目にした際にサポートを求めることは重要である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親密なパートナーからの暴力とは何かを明らかにする（知識） ・親密なパートナーからの暴力の具体例を説明する（知識） ・親密なパートナーからの暴力は間違った行為であること、それを見た子どもがサポートを受けることは手助けになることを認識する（態度） ・そのような暴力を家庭内で経験した場合に信頼できるおとなにアプローチする方法をはっきりと示す（スキル） <p>4.2 同意、プライバシー、からだの保全</p> <p>キーアイデア 望まない性的な扱われ方とは何かを知り、成長に伴うプライバシーの必要性を理解することは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期思春期になると、自分のからだやプライベートな空間に関するプライバシーは男女問わず、特に女子のトイレや水場へのアクセスは、より重要になることを説明する（知識） ・望まない性的な扱われ方を明らかにする（知識） ・男女問わず、望まない性的な扱われ方は、プライバシーと自らのからだを自分で決める権利の侵害であると認識する（態度） ・プライバシーを守り、望まない性的な扱われ方に対抗するために、アサーティブ（相手も尊重した自己主張）に伝える（スキル） <p>4.3 情報通信技術（ICTs）の安全な使い方</p> <p>キーアイデア インターネットやソーシャルメディアの使用には特別な注意と配慮が必要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットやソーシャルメディアの利点と起こりうる危険性について具体例を説明する（知識） ・インターネットやソーシャルメディアの使い方には慎重であることの重要性を認識する（態度） ・ソーシャルメディアにおいて、どんな情報を、誰と共有するかについて、どのように決めるかをはっきりと示す（スキル） <p>キーアイデア 性的に露骨な表現やメディアはソーシャルメディアを通じて簡単に入り込んでくるが、それらは時に有害なジェンダースtereotypesを促進する</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的に露骨なメディア（ポルノグラフィ）、セクスティングとは何かを説明する（知識） ・性的に露骨なメディアは、しばしば男性、女性、性的関係をしばしば非現実的に描くということを説明する（知識） ・性的に露骨なメディアは、男性、女性、性的関係の誤った描き方をすることで人を誤解させる可能性があることに気づく（態度）
---	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・性的に露骨なメディアやセクスティングについて信頼できるおとなに伝える方法を明らかにし、実際にやってみる（スキル）
キーコンセプト5健康とウェルビーイングのためのスキル	<p>5.1 性的行動における規範と仲間の影響</p> <p>キーアイデア 仲間は、思春期やセクシュアリティにかかわる意思決定や行動に影響する学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期やセクシュアリティにかかわる意思決定や行動への、仲間からのポジティブな影響とネガティブな影響を説明する（知識） ・仲間は、前期思春期やセクシュアリティにかかわる意思決定や行動に影響しうることを認識する（態度） ・仲間からの影響に対する問題意識をもつ（スキル） <p>キーアイデア 思春期やセクシュアリティに関連する、仲間からのネガティブなプレッシャーに対抗し、仲間からのポジティブな影響を受け入れ、それを促進するさまざまな方法がある学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期やセクシュアリティに関する、仲間からのネガティブなプレッシャーに対抗し、仲間からのポジティブな影響を促進するさまざまな方法を列挙する（知識） ・思春期やセクシュアリティに関するネガティブなピアプレッシャーに対抗できることは重要だと認識する（態度） ・自分たちがしたくないことは断れるということをはっきりと示す（スキル） ・ポジティブな仲間からの影響を受け入れ促進するさまざまな方法を実際にやってみる（スキル） <p>5.2 意思決定</p> <p>キーアイデア 意思決定は、学び、実践することのできるスキルである学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定の際の主なステップを説明する（知識） ・意思決定は学ぶことのできるスキルだと認識する（態度） ・意思決定のプロセスを、問題の解決に適用する（スキル） ・意思決定の助けになりうる親、保護者、信頼できるおとなを挙げる（スキル） <p>キーアイデア 意思決定には、友だち、文化、ジェンダー役割のステレオタイプ、仲間、メディアを含むさまざまなものが複合的に影響している学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがする意思決定に影響を与えることを列挙する（知識） ・自分たちの意思決定が非常に多くの要因に影響されていることを理解する（態度） ・自分たちの意思決定に影響するさまざまな事柄についてどう感じるかを表現する（スキル） <p>5.3 コミュニケーション、拒絶、交渉のスキル</p> <p>キーアイデア 効果的なコミュニケーションにはさまざまな方法とスタイルがあり、それは希望やニーズ、個人の境界線を伝え、理解するために重要である学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な言語・非言語コミュニケーション、効果的でない言語・非言語コミュニケーションの特徴（積極的に聞くこと、感情を表現すること、理解を示すこと、直接的なアイコンタクト、一方これらに対して、耳を傾けないこと、感情を表現しないこと、理解を示さないこと、目をそらすことなど）を説明する（知識） ・自分の希望やニーズ、個人の境界線を表現できること、他者のそれらを理解できることの重要性に気づく（態度） ・交渉の際には、相互に尊敬し協力すること、時には妥協することが、すべての当事者から求められるこ

	<p>とを認識する（態度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の希望やニーズ、個人の境界線を伝えるさまざまな効果的な方法、他者のそれらに耳を傾け敬意を払うさまざまな効果的な方法を実際にやってみる（スキル） <p>5.4 メディアリテラシー、セクシュアリティ</p> <p>キーアイデア メディアは、セクシュアリティやジェンダーに関する価値観、態度、規範に、良くも悪くも影響を与える可能性がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアのさまざまなタイプ（ソーシャルメディア、従来のメディアなど）を明らかにする（知識） ・メディアの中で、男性、女性、関係性がどのように描かれているのかの具体例を共有する（知識） ・セクシュアリティやジェンダーにかかわる個人の価値観、態度、行動に及ぼすメディアの影響について説明する（知識） ・セクシュアリティやジェンダーにかかわる価値観、態度、行動に及ぼすメディアの影響力を認識する（態度） ・メディアにおいて男性と女性がどのように描かれているかについての問題意識をもつ（スキル） <p>5.5 援助と支援を見つける</p> <p>キーアイデア 学校やより広いコミュニティには、さまざまな援助や支援の拠点がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが援助を求める必要のある問題（虐待、ハラスメント、いじめ、病気など）について認識し、関連する援助の拠点を明らかにする（知識） ・虐待、ハラスメント、いじめは、信頼できる援助の拠点に通報するべきであることを再認識する（知識） ・学校やコミュニティの外部に援助を求めることが必要となるかもしれない問題があることを認識する（態度） ・より広いコミュニティの中でも、援助を探し出し、そこにアクセスするさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）
<p>キ ー コ ン セ プ ト 6 人 間 の か ら だ と 発</p>	<p>6.1 性と生殖の解剖学と生理学</p> <p>キーアイデア 誰のからだにも性の健康や生殖にかかわる部分があり、それらについて子どもたちが疑問を抱くことはよくあることである</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性の健康や生殖にかかわるからだの部分を説明する（知識） ・自分のからだや性的機能に関して知りたがったり、疑問をもったりすることは自然なことだと認識する（態度） ・誰のからだもさまざまな大きさ、形状、機能、特徴があり、個々に異なりそれぞれにすばらしいものであると認識する（態度） ・質問ができる信頼するおとなを特定し、性と生殖に関する解剖学および生理学について質問するさまざまな方法を実際にやってみる（スキル） <p>キーアイデア 女性のからだは月経周期の中で排卵する、男性のからだは精子をつくり出し射精する、この両方が生殖には必要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生殖を引き起こすからだの重要な機能（月経周期、精子の産生、射精など）を説明する（知識） ・女性と男性のからだの両方が生殖において重要な役割を果たすことを説明する（態度） ・月経周期や射精がどのように起こるかについての理解について確信があることを表現する（スキル）

6.2 生殖

キーアイデア 妊娠が始まるには、精子が卵子と結合し、子宮に着床するという条件が必要不可欠である

学習者ができるようになること

- ・生殖のために必要な段階を列挙する（知識）
- ・ペニスが膈内で射精する性交の結果で妊娠が起こることを再認識する（知識）
- ・性交によって常に妊娠するわけではないことを再認識する（知識）

キーアイデア 排卵日前後に精子があれば最も妊娠しやすいなど、月経周期にはさまざまな段階がある

学習者ができるようになること

- ・最も妊娠しやすい時期を含め、月経周期について説明する（知識）
- ・ホルモンの変化が、月経や最も妊娠しやすい時期を調節していることを再認識する（知識）
- ・月経周期の働きについてポジティブに認識する（態度）
- ・月経に対する感じ方について省察する（スキル）

キーアイデア 妊娠には一般的な兆候があり、月経が来なかったり遅れたりしているときはできるだけ早く妊娠検査をして確認すべきである

学習者ができるようになること

- ・妊娠の兆候と、胎児の発達段階について説明する（知識）
- ・健康的な妊娠と出産の促進を可能にするステップを的確に認識する（態度）
- ・妊娠を確認する入手可能な検査方法を説明する（知識）

6.3 前期思春期

キーアイデア 前期思春期は人の生殖能力における変化の前兆である

学習者ができるようになること

- ・前期思春期のプロセスと生殖システムの成熟を説明する（知識）
- ・前期思春期に起こる主な身体的、感情的変化を列挙する（知識）
- ・前期思春期について信頼できる情報を得るさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）

キーアイデア 前期思春期の間は、性と生殖にかかわるからだを清潔で健康に保つためにも、衛生的であることが重要である

学習者ができるようになること

- ・衛生的で、清潔に過ごすための習慣を説明する（知識）
- ・個人の衛生意識の重要性を的確に認識する（態度）
- ・成長の時期を健康的に保つために、衛生の理解を個人的な生活計画に適用する（スキル）

キーアイデア 月経は一般的なことで、女子の身体的発達の自然な一部であり、秘密やスティグマとして扱われるべきでない

学習者ができるようになること

- ・月経周期を説明し、その時期に女子が経験する可能性のあるさまざまな身体的症状や気持ちを明らかにする（知識）
- ・月経用ナプキンやその他の月経用品の入手方法、使用方法、捨てる方法を説明する（知識）
- ・ジェンダー不平等が月経中の女子の恥ずかしさや恐れ of の気持ちにどのように影響しているかを再認識する（知識）
- ・月経期間中、すべての女子は月経用ナプキン、その他の月経用品、きれいな水、個室トイレを利用できることが重要であると認識する（態度）
- ・月経期間中も女子が快適に感じるため積極的で支援的な方策をはっきりと示す（スキル）

キーアイデア 前期思春期には、若者はさまざまな身体的反応を経験する（勃起、夢精など）

学習者ができるようになること

	<ul style="list-style-type: none"> ・若い男性は、起床によってもしくは明確な理由もなく勃起を経験することがあり、それは一般的なことだと理解する（知識） ・思春期の若者の中には、夢精と呼ばれる、夜の間に勃起し射精する経験をするすることがあり、それは一般的なことだと再認識する（知識） ・勃起、夢精、その他の性的反応は、前期思春期の一般的なことであると認識する（態度） <p>6.4 ボディイメージ</p> <p>キーアイデア 身体的外見は人としての価値を決めない</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的外見は、遺伝、環境、健康習慣によって決まることを説明する（知識） ・身体的外見は、その人の人としての価値を決めるものではないことを認識する（態度） ・仲間同士においても、身体的外見の違いを認め合う姿勢を示す（態度） <p>キーアイデア 身体的外見において、何を魅力的と感じるかには大きな差異がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的外見において、人が魅力的だと思う部分の差異を説明する（知識） ・人が何を身体的に魅力的と思うかは、時とともに変化し、文化によっても異なることを認識する（態度） ・自分自身は何を魅力的と感じているのか、そしてそれは周りが魅力的と感じているものとどう異なるかを省察する（スキル）
<p>キ ー コ ン セ プ ト 7</p> <p>セ ク シ ュ ア リ ティ と 性 的 行 動</p>	<p>7.1 セックス、セクシュアリティ、生涯にわたる性</p> <p>キーアイデア 人間はそれぞれのセクシュアリティを一生を通して楽しむ能力をもって生まれる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアリティには、他者への感情的、身体的な関心を伴うことを理解する（知識） ・人間が一生を通じて身体的接触（キス、ふれあい、愛撫、性的接触など）からよるこびを感じるさまざまな方法を説明する（知識） ・セクシュアリティは人間の健康にかかわる一部であることに気づく（態度） ・同性に魅力を感じる人、同性に魅力を感じると思われている人に対する差別は間違ったことであり、その差別はそれらの個々人にネガティブな影響をもたらす可能性があることを認識する（態度） ・さまざまな性的な感情について伝え、理解し、適切な方法でセクシュアリティについて語る（スキル） <p>キーアイデア セクシュアリティに興味を抱くことは自然であり、信頼できるおとなに疑問を尋ねることは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアリティに興味を抱き、疑問をもつことは自然であることを認識する（態度） ・一緒にいて居心地のよい信頼できるおとなを特定し、そのおとなにセクシュアリティについての質問をすることを実際にやってみる（スキル） <p>7.2 性的行動、性的反応</p> <p>キーアイデア 人には、性的刺激（身体的、または精神的）が身体的反応を引き起こしうるという性的反応の周期がある</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性的刺激に対する男性および女性の反応を説明する（知識） ・前期思春期の男子と女子は性的魅力や性的刺激に対する反応をより強く意識するようになることを提示する（知識） ・多くの男子と女子は前期思春期に、もしくはそれより早い段階でマスターベーションをりはじめることを説明する（知識）

	<ul style="list-style-type: none"> ・マスターベーションは、身体的、または感情的な害を引き起こさないが、一人になれる空間で行うべきことであることを認識する（知識） <p>キーアイデア セックス（性行動）を遅らせるだけではなく、性的に活発になることも含め、性的行動について情報に基づいた決定ができることは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セックス（性行動）を遅らせたり、性的に活発になったりすることを選択することのメリットとデメリットを比較対照する（知識） ・禁欲とは、セックス（性行動）をしない選択をすること、また、セックス（性行動）をいつ、誰と、初めてするかを自ら決めることを意味し、妊娠や HIV を含む性感染症を防ぐ最も安全な方法であることを理解する（知識） ・セックス（性行動）や恋愛関係において下す決断が、自分の将来設計にどう影響しうるかを省察する（態度）
<p>キ ー コ ン セ プ ト 8</p> <p>性 と 生 殖 に 関 する 健 康</p>	<p>8.1 妊娠、避妊</p> <p>キーアイデア 妊娠の主要な特徴を理解することは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠の一般的な兆候を列挙する（知識） ・妊娠を確認することができる入手可能な検査について説明する（知識） ・早期結婚（自発的でも強制的でも）と、早期妊娠・出産によって引き起こされる健康のリスクを列挙する（知識） ・若年での意図しない妊娠は、健康面や社会面でネガティブな結果となる可能性があることを認識する（態度） ・もし妊娠の兆候があったときに、話すことのできる親や保護者、あるいは信頼できるおとなを明らかにする（スキル） <p>キーアイデア 現代的避妊法は避妊や妊娠の計画を助ける</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的避妊法やコンドーム、その他の意図しない妊娠を避ける方法に対する迷信を修正する（知識） ・性交をしないことが意図しない妊娠を防ぐ最も効果的な方法であることを説明する（知識） ・意図しない妊娠のリスクを下げるために、男性用と女性用コンドーム双方の正しい使い方の手順を説明する（知識） <p>キーアイデア ジェンダー役割や仲間の規範は避妊具の使用の決定に影響しうる</p> <p>学習者ができるようになること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避妊具の使用におけるジェンダー役割や仲間での規範やさまざまな影響の仕方について議論する（知識） ・コンドームやその他避妊法の利用の決定には、性的パートナーの両方に責任があることを認識する（態度） ・避妊は男性と女性の両方の責任であることを認識する（態度） ・避妊具についてどう思うか、またそれらの意見に影響を及ぼすジェンダー役割や仲間の規範について省察する（スキル） <p>8.2 HIV と AIDS のスティグマ、治療、ケア、サポート</p> <p>キーアイデア HIV と共に生きる人にとって、安全かつ協力的な環境で HIV の状態について話せることは重要である</p> <p>学習者ができるようになること</p>

- ・ HIV と共に生きる人たちが、自分の HIV の状態を話すことで生じる利益や、困難について説明する（知識）
- ・ HIV と共に生きる人には、生まれたときから HIV の人もいれば、後から HIV に感染した人もいることを再認識する（知識）
- ・ HIV と共に生きる人たちにとって安全で協力的な環境を保障する責任が誰にでもあることを認識する（態度）
- ・ 安全で協力的な環境に貢献するさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）

キーアイデア HIV と共に生きる人は、ケアと治療に関してそれぞれに異なるニーズがあるが、そのニーズの中には副作用の可能性もある

学習者ができるようになること

- ・ なぜ HIV と共に生きる人は、ケアと治療に関して、副作用の可能性を含めてそれぞれに異なるニーズがあるのか説明する（知識）
- ・ HIV に対する治療は一生継続し、副作用その他の困難を伴うことがあり、また栄養作用に関して慎重に注意を払う必要があることを再認識する（知識）
- ・ HIV と共に生きる子どもや若者もまた治療の恩恵を受けることができるが、特に前期思春期の頃は適切な投薬とその遵守、副作用（骨密度、ARV 薬剤耐性など）に慎重な注意が必要であることを明言する（知識）
- ・ HIV にかかわるケア、治療、サービスへどのようにアクセスできるかを列挙し、実際にやってみる（スキル）

キーアイデア HIV と AIDS は、家族構成や家族の役割、責任に影響しうる

学習者ができるようになること

- ・ HIV は人間関係や家族、あるいは性的生活をもつことにおいて障壁とはならないこと、なぜならさまざまな HIV の状態にある人々が共に生活し、HIV 感染のおそれなく性的パートナーになり、また感染しない子どもをもつこともできるからであることを説明する（知識）
- ・ HIV や AIDS がさまざまな家族やその構成、役割分担、責任にどう影響するのかについて例示する（知識）
- ・ 家族、コミュニティ、サービス、治療などのサポートがあれば、HIV と共に生きる女性は健康に過ごし、HIV に子どもを感染させることなく出産し、授乳することができるということを説明する（知識）
- ・ すべての人に HIV と共に生きる人をサポートする責任があることを認識する（態度）
- ・ HIV と共に生きる人をサポートするさまざまな方法を実際にやってみる（スキル）

8.3 HIV を含む性感染症リスクの理解、認識、低減

キーアイデア 性感染症にすでに感染している人と性交をすることで、HIV を含む性感染症にかかる可能性はあるが、感染しやすさを低くするさまざまな方法がある

学習者ができるようになること

- ・ 自分たちのコミュニティの中で若者にとって最も一般的な性感染症（HIV、HPV、ヘルペス、クラミジア、淋病など）とその感染経路を列挙する（知識）
- ・ HIV は軽度の接触（握手、ハグ、同じグラスで飲むなど）であれば感染しないことを説明する（知識）

キーアイデア HIV は、HIV と共に生きる人との無防備な性交を含む、さまざまな経路で感染しうるウイルスである

学習者ができるようになること

- ・ HIV のさまざまな感染経路を列挙する（HIV と共に生きる人と無防備な性交をする、HIV が混入した血液を輸血する、注射器、針または他の鋭利な器具を共有するなど。また、妊娠中、分娩時または母乳育児されている期間など）（知識）
- ・ HIV は、ほとんどの人が HIV と共に生きる人との無防備な挿入を伴う性交によって感染する、あるいは感染させることを明言する（知識）

キーアイデア 人々が HIV を含む性感染症への脆弱性を低くすることができるさまざまな方法がある
学習者ができるようになること

- ・ HIV に感染したり、感染させたりするリスクを低減するさまざまな方法を説明する。HIV に晒される前（コンドームの使用、可能な地域である場合は任意の医学的な男性包皮切除（VMMC）あるいは曝露前予防内服（PrEP）とコンドームとの併用）と HIV に晒された後（入手可能な地域における曝露後予防内服（PEP））の両方について（知識）

（上記の VMMC、PrEP、PEP については、以下の注釈参照：本稿編集者）

- ・ コンドームの正しい使用手順を説明する（知識）
- ・ 入手可能な地域においては、何歳からどこで性器ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンを受けられるのかを説明する（知識）
- ・ 望まない性的プレッシャーへの拒否や、コンドームと避妊具の正しい一貫した使用を含むセーフセックスを実行する意思を伝えるコミュニケーション、交渉、拒絶のスキルをはっきりと示す（スキル）

キーアイデア 検査は HIV を含む性感染症に感染しているか、していないかを明確にできる唯一の方法であり、HIV やほとんどの性感染症には治療方法がある

学習者ができるようになること

- ・ 自分たちのコミュニティの中における HIV を含む最も一般的な性感染症の検査と治療についての理解をはっきりと示す（知識）
- ・ 検査を受けたい人をサポートするさまざまな方法を説明する（知識）
- ・ 検査を受ける人にとって安全で支援的な環境の重要性について認識する（態度）
- ・ 検査を受けるためにどこに行けばよいかをはっきりと示す（スキル）

以下の注釈は、ガイダンスではなく厚労省検疫所のサイト FORTH HIV/AIDS について（ファクトシート）の <https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/2017/12221202.html> より引用

*** HIV 陰性のパートナーに対する曝露前予防(pre-exposure prophylaxis: PrEP)**

HIV の経口曝露前予防(PrEP)は、HIV の感染を防ぐために HIV 非感染者が ARV 薬を日常的に使用することです。パートナーの片方が感染者、もう片方が非感染者(Serodiscordant)の異性カップル、男性と性交渉をする男性、トランスジェンダーの女性、ハイリスクの異性カップル、薬物注射の使用者などの集団において行われた 10 件以上のランダム化比較研究で、経口曝露前予防(PrEP)には HIV の感染伝播を減らす効果があることが実証されました。WHO は、予防方法の組み合わせの一環として、HIV 感染のリスクが高い人の予防法の選択肢として経口曝露前予防(PrEP)を推奨しています。WHO は、この勧告を HIV に感染していない妊娠女性や授乳中の女性に拡大しました。

*** HIV に対する曝露後予防 (pre-exposure prophylaxis: PEP)**

曝露後予防(post-exposure prophylaxis :PEP)とは、感染を予防するために HIV に曝露してから 72 時間以内に ARV 薬を使用することです。PEP には、カウンセリング、一次救急処置、HIV 検査のほか、28 日間の経過観察と ARV 薬の服用が含まれます。WHO は、職業上の曝露にも非職業上の曝露にも、そして成人の曝露にも子どもの曝露にも、曝露後予防(PEP)の使用を奨励しています。

男性の包皮環状切除 (VMMC)

男性の包皮環状切除は、男性における HIV の異性間感染のリスクを約 60%低下させます。これは、HIV の罹患率が高く、男性の包皮環状切除の実施率が低いアフリカの東部と南部の 15 개국で支援が行われている重要な予防的介入です。また、VMMC は、あまり医療支援サービスを受けることのない男性成人および青年男子に（予防対策を）届けるための良い手段ともみられています。

2007 年以降、WHO は新たな予防戦略としての VMMC を勧めており、アフリカの東部と南部の約 1,500 万の青少年男児および成人男性に、HIV 検査および安全性の高い性交渉とコンドーム使用方法についての教育など、一貫した支援が提供されました。

以下は、男性の包皮環状切除（MMC）について疑問視する「JASE 現代性教育ジャーナルNo, 103」掲載文 https://www.jase.faje.or.jp/jigyo/journal/seikyoiku_journal_201910.pdf （紹介：本稿編集者）
--